

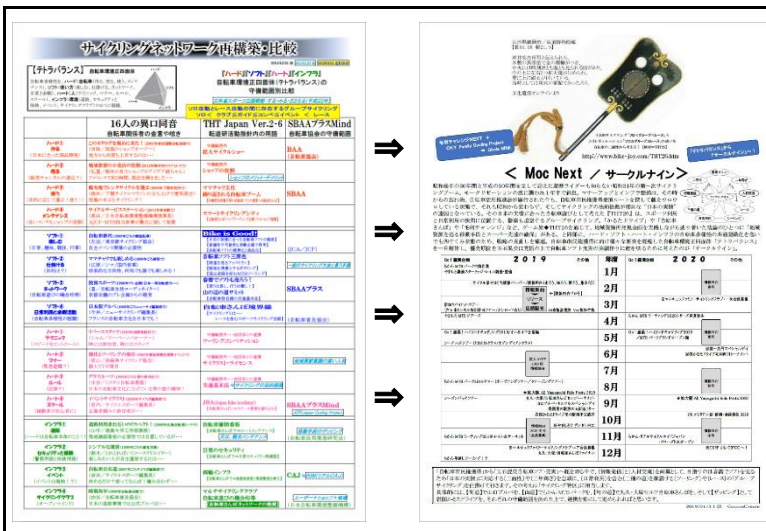


自転車活用推進法が施行されたとは言え、道路構造令が昭和の設計思想のまま進んでいる現状があり、サイクリングにとって理不尽な道は増殖している。

走る余地の無い道路でも個人の自由使用は止められない。しかしグループ使用は責任の所在が発生するため目的外使用となる。これが玉石混合自転車ソフトの実情であり、サイクリングを楽しむ環境に無いのは周知の事実。

欧米の考えは「サイクリングとはレースを含むスポーツサイクリング全般」。そして『スーパー先達』に相当するサイクリングクラブが存在している。実現には、自転車市民権獲得と言う世論の後押しが必要。

▲2018年「チョイスの提案」ページ10。ここにあるキーワードの具体化には「スーパー先達」が個人である必要はない。



‘いわくに研究会’と連携する‘転遊研／自転車遊び総合研究会’では、2005年より始めた日本の実情に合った自転車遊びを模索する実験企画で「THT26」に出会う。

当時から変わっていない「日本の実情」とは、道路、余暇、ハード供給、ソフト、マナーアップ、セキュリティ、ネットワークなどの不備。

それらを凝縮したものが、左図左の「テトラバランス」であり、それを理解し玉石混合を覚悟した上で自転車ソフトの充実を目指す羅針盤が左図右の「サークルナイン」。

▲自転車市民権獲得に向けた「テトラバランス」を一旦解体し、玉石混合自転車ソフト企画「サークルナイン」に舵を切る。

★国や県や自転車協会が自転車の利活用に注力するも、「走り出したら自己責任」や「時には参加者、時にはスタッフ」という欧米的な土壌が無ければ絵に描いた餅です。また、昭和からの忘れ物、マナーアップやインフラ整備というカビた餅もあります。市民の足を大胆に確保するサイクリング特区で未来を語りましょう！

◆提言ソース参考ページ【検索⇒岩国かるたドライブ】にリンクを設定しています。

<http://www.bike-joy.com/ICD.htm>

いわくに研究会／試走会レポート

<http://bikejoy.web.fc2.com/lwaKENdummy/lwaKEN.htm>

毛利チャレンジ◇岩国通津散歩

http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MocMRT/MomiMoc18_1209iwakuni.htm

防長かるたドライブ／米の回

http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MoC/BCD2017_NagatoKomenokai.htm

理不尽な道

http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/YBK/Road_of_Rifujin.htm#wakuni

サイクル県やまぐち

<http://cycleken-yamaguchi.com/>

らんかんMTBパーク構想

http://bikejoy.web.fc2.com/toretoreGR/Yamashiro_Trail_Maintenance.htm#RMP19

岩国かるたドライブ／一泊二日ブレ走行会

<http://bikejoy.web.fc2.com/lwaKENdummy/ICD2013v3.htm>

日刊いわくに・連載ページ一覧

http://bikejoy.web.fc2.com/lwaKENdummy/1415/ICD_FuyuHaru_IR.htm#4

自転車さんぽ◇時めぐり萩リターンズ

<http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MoC/MouriChallenge01.htm>

くると岩国◇海岸往復コース

http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MoC/MouriChallenge_iEx.htm#RR8

サイクル県やまぐちのHPチェック

<http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/THTjapanSUT.htm#5maioroshi>

推進計画(案)へのパブリックコメント

<http://bikejoy.web.fc2.com/k2.htm>

メニュー3点セットの継続

http://bikejoy.web.fc2.com/BikeJoy/BiE/Bike_it_Easyll.htm#4

チョイスの提案

<http://bikejoy.web.fc2.com/C.htm#02>

テトラバランスとサークルナイン

http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MocMRT/MomiMoc18_RRSK_NextICD.htm#06



山代・岩国・防長をゲーム旅で斬ってみた!?

【岩国市への提言のまとめ】

①石橋を叩いても渡らない岩国市と、サイクル県やまぐちとの連携と、Go羅漢ハイランドギャザリングについての提言

★「石橋を叩いても渡らない」は、ある意味正解です。多くのサイクリングイベントは、道路の目的外使用に当たり、問題も少なくありません。シンボルイベントがクローズドサーキットのように助成金へのアプローチは、過去に実施実績もあり、競技連盟の隠密調査も入っている羅漢での、MTBイベントが最短距離と思われまます。

②里の駅の立体企画と、地域資源を巡る移動手段の確保と、参加者のモチベーションを上げる工夫についての提言

★イベント的にも、スタンプラリー的にも楽しめる「岩国かるたドライブ」は、買い物タスクというオプションもあり、点在する「里の駅」との相性は証明済みです。四季に合わせた展開を継続することで、地域資源のストックやブランド磨きが促進されます。ホームページ、イベント、媒体コラボ体験と、立体企画を実現させましょう。

③自転車活用推進計画の限界と、玉石混合の自転車ソフトと、スーパー先達で読み解く日本の実情についての提言

★国や県や自転車協会が自転車の利活用に注力するも、「走り出したら自己責任」や「時には参加者、時にはスタッフ」という欧米的な土壌が無ければ絵に描いた餅です。また、昭和からの忘れ物、マナーアップやインフラ整備というカビた餅もあります。市民の足を大胆に確保するサイクリング特区で未来を語りましょう!

合併で拡大した岩国市の福地化を有志で考える「いわくに研究会」の最近の活動は、「ゲーム旅」を用いた地域資源再発見企画の提案です。今回の提言、●羅漢高原でのMTB企画、●里の駅の立体企画、そして●市民の足を確保するサイクリング特区、この三つを結ぶのは、正に「ゲーム旅」に他なりません。

この遊びには「移動の自由」という、人類の大命題も含まれています。平成の大合併に含まれる少子高齢化対策、「コンパクトシティ」と類似もしていますが、微妙に異なってもいます。コンパクトシティも最適解ではなく、日本の原風景を捨てる覚悟も求められているからです。その原風景を含む地域資源に有機的に立体的にスポットを当て、様々な問題を浮かび上がらせる「ゲーム旅」で、岩国市の福地化を考えませんか?

「ゲーム旅」の応用企画として、「岩国～長門スペシャルサイクリング」、「特区シンボル・六日市トンネル往来」、「宮島～羅漢アイランドハイランド」、「コンパクトシティ自転車ロングタイムレタル」、そして企画の裏方「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」等を考えています。

国や県では広すぎる、市町では狭すぎる。そこで空からの水を分けた範囲を、錦川流域エリアとして、特区の可能性を考えたいと思います。その情報発信と人材交流の基地を1000mの高原に置き、皆様にもその風景を見て頂きたいと思います。

サイクリング特区に「ゲーム旅」を重ね移動手段を横断することで、道路インフラや公共移動や、それらの供給やメンテナンス、そして健康増進観光余暇活動ブランド磨きや人材育成、さらに雇用の創出も守備範囲とし、皆様の政治課題にシンクロするもので、引き出しに加えて頂ければ幸甚です。以上、宜しく願い申し上げます。

自転車遊び研究所

COURSE
CREATE

Open road, Closed circuit,
School, Media, Academy



2019年2月**日

いわくに研究会代表/中野 敏

コースクリエイター山口&いわくに研究会/石丸英明

〒740-0044 岩国市通津 1951-10

TEL/090-5573-9372 FAX/03-6368-4661

E-mail/nqa50755@nifty.com